

### 第3学年 社会科 授業構想シート

授業者 中山 和幸

本実践の主張点	身に付けさせたい知識・技能をまちたんけんや地図づくりなどの体験活動を通して身に付けさせ、習得した知識・技能を自覚化できるような振り返り活動を行うことで、確実な知識・技能の習得とそれらのメタ化を促すことができるだろう。
---------	--

1. 単元名 わたしたちの住んでいるところ

2. 3年C組の子ども

3. 何ができるようになるか

探究力	まちたんけんや地図づくりを通して、土地の利用、交通の広がり、建物の様子などの視点で和歌山市の特色を考察し、考察したことをまとめ、他者に発信する力
省察性	学習を見通したり、ふり返ったりする中で、自他の問題解決の妥当性を吟味する力

4. 何を学ぶのか

① 単元の目標

自分たちの住んでいる身近な地域の様子について観察・調査などして具体的に調べることをとおして、特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所や市役所の働き、交通の広がりなどについて社会的な見方・考え方を働かせながら、地域の様子は場所によって違いがあることがわかる。

② 教材の価値

和歌山市は、紀伊半島の北西に位置し、大阪府に隣接している。およそ36万人が住んでおり、東西に紀ノ川が流れ、海にそそいでいる。紀ノ川沿いには、田や畑があり、北部には、近年開発が進み、家が建ち並ぶ地域がある。また、河口付近には、工場が点在している。このように、和歌山市は場所によってそれぞれ様子が異なり、自然条件や社会条件と関わって様々な特色がみられる。また、道路の整備が進み、和歌山市内のどの地域からも市外、県外へのアクセスが便利になってきている。子どもたちがねらいに迫るために適した教材となる可能性を十分に含んでいる。

③学年間・教科間のつながり

2年生では、生活科の学習でまちたんけんに出かけ、学校のまわりの公共施設やお店の様子を調べる活動を行い、それぞれにおもしろいものや不思議だなと思うものに出会い、各々が自分なりの見方をもって、まちをみる学習を経験している。本単元では、この自分なりの見方を交流できるようにし、自分なりの見方に加え、客観的な見方を育てていけるようにしたい。

5. どのように学ぶのか

①働かせたい思考スキル

くらべる    つなげる    まとめる    広げる    予想する    見方を変える

② 学習内容を理解し、資質・能力を育成するための学習過程

<p>単元計画（全18時間） 本時 13/18</p> <p><b>一次 和歌山市について知っていることを話し合おう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山市の様子について知っていることを話し合い、和歌山城大天守から和歌山市を一望する。①②</li> <li>・まちたんけんの計画を立てる。③</li> </ul> <p><b>二次 和歌山市について調査しよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちたんけんを行う。④⑤⑥⑦⑧⑨</li> <li>・まちたんけんで見つけてきたものや発見したこと（気づき）を白地図にまとめる。⑩⑪</li> </ul> <p><b>三次 和歌山市についてまとめ、発信しよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山市の特色について話し合い、まとめる。⑫⑬</li> <li>・和歌山市役所の方に話を聞き、和歌山市の特色について捉え直す。⑭⑮</li> <li>・和歌山市ガイドマップをつくり、岩出市の小学生に紹介する。⑯⑰</li> <li>・単元のふり返りをする。⑱</li> </ul>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="text-align: center;">単元における授業づくりのしかけ</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">探究力を育む</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちたんけん、地図づくりなどの具体的な活動を充実させながら、和歌山市をじっくりと考察する時間を確保する。</li> <li>・地図づくりやガイドマップづくりを行い、学びを総合することや仲間と協働することを必然にする。</li> <li>・つながりマップをつくることで、物事の因果関係を捉えさせる。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">省察性を育む</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習計画を立てる時間を設定し、学習を見通すことができるようにする。</li> <li>・学習をふり返る時間を設定し、学習をふり返ることができるようにする。</li> <li>・全員の考えを可視化し、考えの共通点や相違点が見えるようにする。</li> </ul> </td> </tr> </table>		単元における授業づくりのしかけ	探究力を育む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちたんけん、地図づくりなどの具体的な活動を充実させながら、和歌山市をじっくりと考察する時間を確保する。</li> <li>・地図づくりやガイドマップづくりを行い、学びを総合することや仲間と協働することを必然にする。</li> <li>・つながりマップをつくることで、物事の因果関係を捉えさせる。</li> </ul>	省察性を育む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習計画を立てる時間を設定し、学習を見通すことができるようにする。</li> <li>・学習をふり返る時間を設定し、学習をふり返ることができるようにする。</li> <li>・全員の考えを可視化し、考えの共通点や相違点が見えるようにする。</li> </ul>
	単元における授業づくりのしかけ						
探究力を育む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちたんけん、地図づくりなどの具体的な活動を充実させながら、和歌山市をじっくりと考察する時間を確保する。</li> <li>・地図づくりやガイドマップづくりを行い、学びを総合することや仲間と協働することを必然にする。</li> <li>・つながりマップをつくることで、物事の因果関係を捉えさせる。</li> </ul>						
省察性を育む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習計画を立てる時間を設定し、学習を見通すことができるようにする。</li> <li>・学習をふり返る時間を設定し、学習をふり返ることができるようにする。</li> <li>・全員の考えを可視化し、考えの共通点や相違点が見えるようにする。</li> </ul>						

6. 何が身に付いたか

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	調査活動や各種の資料から情報を収集し、和歌山市の特色や市役所の働きを捉えている。	自然条件や社会条件の両方と和歌山市のまちを関連付けて考え、説明できている。	すすんで、調査・観察したり、学びをガイドマップに整理したりしようとしている。

## 社会科学習指導本時案

授業者 中山 和幸

日時：令和元年6月15日（土）第6校時（14：35～15：20）

対象：第3学年C組 29人

場所：3年C組教室

本時の主張点	まとめ・表現の学習過程において明確な目的を子どもに持たせることで、これまでの学びをふり返り、学んだ知識を総合したり、活用・発揮したりしながら和歌山市全体を捉え直そうとする探究的な学びが実現できるだろう。
--------	---

### 1. 本時の構想と学習課題について

前時までに、まちたんけんや地図づくりを通して、地域ごとの特色や事象のつながりについて考察してきた子どもたちが、岩出市の小学生に和歌山市のことを伝えることを目的にすることで、和歌山市全体へと視野を広げ、和歌山市を俯瞰的に考察し、捉え直そうとするのが本時である。前時に子どもの問いをもとに設定した学習問題である「和歌山市は、どんなまちと言えるだろうか？ぴったりの言葉を探そう。」の解を地形、土地利用の様子などの「地理的な見方」や和歌山市内の「ひと・もの・こと」の相互のつながりなどの「関係的な見方」、開発・進化する道や建物などの「時間的な見方」の3つの視点から和歌山市の特徴を明らかにしていく。和歌山市を多角的に捉え、和歌山市は見方によって様々な顔をもち、今も変化し続けているまちだということに気づかせたい。

### 2. 本時における探究的な学びと省察性の働き

和歌山市内における各地域の特徴を「地理的・関係的・時間的」な3つの見方を働かせながら、仲間と互いに意見や考えを交流し合い、協働する中で、和歌山市全体の様子を俯瞰的に捉えていくことが本時における探究的な学びであると考え。本時においては、互いの考えを交流し合う中で、考えの違いが明らかになる場面で省察性が働くと予想する。違いに気づくことで、再度自分の考えを見つめ、より多角的に解の妥当性を吟味する姿を引き出したい。吟味によって、自らの考えや和歌山市に対する見方を再構成することが、子どもたちの探究の質を高めることにつながることを期待する。

### 3. 本時で活用・発揮したいこれまでの学び

これまでに、子どもたちは、まちの中にあるものは、互いにつながり合っていて、何かがそこにあったり、集まっていたりするのは理由があることを学んでいる。それらの知識を活用・発揮しながら、和歌山市の地域による様子の違いを説明し合い、和歌山市を多角的に考察する姿を期待している。

また、子どもたち一人一人が自分の住んでいるところやよく遊びに行くところの様子などを思い起こし、普段の生活の中で培われている和歌山市に対する個々の見方を発揮しながら学級の仲間と協働して納得解をつくっていく姿を期待している。

#### 4. 本時の目標

- ・和歌山市に対する個々の見方（地理的・歴史的・关系的）を發揮しながら、和歌山市の様子を多角的に捉えることができる。（思・判・表）

#### 5. 本時の展開

学習活動と予想される子どもの反応	留意点・評価
<p>1. 本時の学びを<b>見通す</b>。（問題の把握，解決の見通し）</p> <p>2. 本時の学習問題について確認し，各々の考えを表出する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>学習問題</b>：和歌山市は，どんなまちと言えるだろうか。ぴったりの言葉を探そう。</p> </div> <p>3. 表出した考えを全体で<b>吟味</b>し，<b>再構成</b>する。</p> <p>予想される子どもの反応</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>地理的</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海，山，川，田んぼ，畑，森，自然豊か</li> <li>・お店，工場，大きな道，電車，いろいろあるよ</li> <li>・和歌山城</li> </ul> <p><b>关系的</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・便利    ・元気いっぱい    ・静かなところもある</li> <li>・にぎやか    ・いなか    ・都会    ・いいところ</li> <li>・みんな大好き    ・お年寄りが多い    ・景色がいい</li> </ul> <p><b>時間的</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・変化する    ・成長する</li> </ul> <p><b>ベストミックス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・変化する和歌山市！いろいろあるよ！！</li> </ul> </div>	<p>留意点・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに本時のゴールを確認し，<b>見通し</b>をもたせる。</li> <li>・各々の考えや意見を表出できるようにする。</li> <li>・一面的な見方に偏る場合は，新しい立場からの考えを教師が提示し，多角的に問題解決について<b>見直す</b>ことができるように促す。</li> <li>・和歌山市の多面性がわかるよう，<b>構造的に板書にまとめる</b>ことで，子どもたちの思考の整理を助ける。</li> <li>・学びを関連付け，総合し，それらを<b>可視化</b>するために，考えの要点を明らかにしながら<b>チャートにまとめていく</b>。</li> </ul> <p style="text-align: center;">【思考の可視化の一例】</p> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>変化する和歌山市！いろいろあるよ！！</p> </div>
<p>4. 学びを<b>振り返り</b>，次時の活動<b>を見通す</b>。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○和歌山市にはいろんなものがあるんだ。</li> <li>○和歌山のすごいところがあったよ。</li> <li>○変わっていているところがあるのにびっくりしました。</li> <li>○早くガイドブックをつくりたい。</li> </ul>	<p>留意点・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山市に対する個々の見方（地理的・关系的・時間的）を發揮しながら，和歌山市の様子を多角的に捉えることができる。</li> <li>・時間があれば，次時への<b>見通し</b>を持たせるために，次の時間は「どんなことをするといいな？」と問い，次時以降の見通しをもたせる。</li> </ul>